

審議会等の会議録

会議の名称	平成29年度第3回座間市市民協働推進会議		
開催日時	平成29年9月20日（水） 午後2時30分から午後5時まで		
開催場所	5-3会議室		
出席者	鈴野和重、小池秀司、若林好江、吉野明子、東 真、吉野芳絵、 遠藤春海、佐藤隆雄		
事務局	市民部市民協働課 (野本市民部長、雨田副主幹兼市民活動係長、内田主査、黒沢主事)		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴人数	0人
一部公開の理由	相互提案型協働事業第1次審査での採点は、非公開としているため。		
議題	1) 市民協働推進会議の検討内容について 2) 平成30年度相互提案型協働事業第1次審査		
資料の名称	・市民協働推進条例・同条例施行規則・相互提案型協働事業実施要綱・ 同事業負担金交付要綱の各写し、答申書（抜粋）、相互提案型協働事業 第1次審査資料		

<p>会議の内容 (発言要旨等)</p>	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正副会長の選出 委員の互選により、会長に小池秀司委員、副会長に吉野明子委員が選出されました。 <p>2 議題</p> <p>1) 市民協働推進会議の検討内容について</p> <p>今任期の当会議において何を検討内容とすべきかについて、次のとおり意見交換がなされました。</p> <p>(事務局) 当会議の所管事項として、相互提案型協働事業の審査から報告会に至るまで年間を通じての作業もありますが、現在のところ、市長から当会議に対する新たな諮問の予定はありません。ついては、答申の中に市として取り組むべき課題が示されており、担当としてその課題を踏まえての市の体制づくりについて検討を始めています。このことについて機会を捉えながら当会議に報告し、委員からご意見を賜りたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 答申において課題提起された「市民活動団体の設立や基盤強化の支援」及び「中間的な機関の更なる発展的活用」に関連して、会長から市民活動サポートセンターの運営団体「ざま市民活動応援広場」における以下の2点の取組について情報提供がありました。 <ol style="list-style-type: none"> ① 市民活動団体の基盤強化のための支援策の具現化に向けた検討をすすめていること ② 協働に関する市民と行政とのつなぎ役としての市民活動サポートセンターの位置づけについて検討していること ・ この結果について検証してみるのも、当会議の役目ではないかと考える。 ・ 基本的には答申の中身が着実に実を結ぶよう、チェック機能を果たしていくのが、今任期における当会議の中心になるのではないかと考える。 ・ 今回の諮問事項の中で、あえて答申には触れられなかった「条例の見直しに関する事項」についての検討はどうか。
--------------------------	---

・条例の見直しについては、まず、今の条例に課題があるかどうかを掴まなければ見直しの議論にならず、例えばアンケートなり何らかの方法で課題が抽出できれば、その課題について検討できるが、現状において取り組むには難しさがある。

※次回会議に各委員が改めて意見を持ち寄ることにしました。

2) 平成30年度相互提案型協働事業第1次審査

事務局から、配布した審査資料に基づいて応募状況及び内容説明を行いました。

・各提案書類の記載内容等について意見交換を行い審査した結果、応募があった4提案事業のうち、2事業が第1次審査を通過しました。

他に発言無く、会長は以上をもって本日の議事は終了した旨を述べ、閉会を宣しました。